



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会 会報

大森 海苔のふるさと館 ニュース49号

ふるはま 海苔の生育観察 今年の生育状況



大森ふるさとの浜辺公園の浜辺では毎年、往時の海苔養殖風景の再現と技術の継承を目的に竹じを建て、海苔網を張っています。ここ数年は、降雨などによる塩分濃度の低下など海環境から思うように海苔網の海苔が伸びることがありませんでした。今シーズンの海苔養殖は全国的に不作が伝えられており、ふるさとの浜辺でも生育が心配されましたが、今シーズンはなんと10cmほどまで伸び、収穫に至りました。採った海苔はさっそく海苔つけし、つやのある乾し海苔ができました。今シーズンの取り組みを振り返ってみます。



2月8日 海苔とり(網張りから47日目)

1. 海苔網張り (12月24日)

ここ数年、網張りは11月後半から12月初めに行なっていましたが、結果が思わしくなかったことと最近では水温が下がるのが遅いことから今年は12月の終わりに行ないました。千葉で種付けをし、少し海苔が伸びた網を張りだしました。この方法は昔行われていた「移殖」と同じですが、昔は七五三の頃には「初手入れ」(その年はじめての海苔とり)をしていたそうですから環境面では相当変わったことがわかります。

網の張りだし初めは、海苔の芽が弱いことや二次



網を張り、支柱にくくりつける

芽が出て網につくことから数枚重ねて張る「重ね張り」をします。張る高さは環境の変化を考慮して昔よりも低く張りました。

2. 海苔とり (2月8日)

網を張ってから度々伸び具合を見に行き、網の高さを調整したり、海苔を食べる水鳥から海苔を守るためのネットを張ったりしてきました。そのかいもあつてか1月に入ると、生産地のような速さではありませんでしたが少しずつ海苔が伸び、この日ついに海苔をとることができました。とった海苔はさっそく海苔切り包丁で細かく切り、四角く海苔付けして乾しました。

海苔が伸びてくると、光が下まで届かないことや海苔がこすれることから重ね張りは良くなく、1枚1枚で張るようにします。そのため元の場所の横に支柱を新たに建てて、網を移しました。今シーズンもう1回ぐらい収穫したいと思っており、網の観察や高さ調整を続けています。

(小山)

オオバンは海苔が大好物





総勢13名、胴長を着て海苔とり



凍える寒さでも素手で海苔とり

太陽の光を浴びて、輝くような海苔ができあがりました→



冬になって、実際に海で作業をするようになるまでもいくつかの作業があります。

***竹ヒビと支柱抜き (4月17日)**

シーズンが終わると、一冬海に建てていた竹や支柱を海底から抜き、片付けます。抜くときには「三本爪」「横万力」といった昔の道具を使います。抜いた竹には「セッコロ」と呼ばれるフジツボなどが結構ついており、それを落とします。



***竹のアク抜き (8月13日)**

冬に近隣の中学校で頂いてきた竹を、油分を抜くために1か月ほど海に沈めました。この竹は竹ヒビに使います。

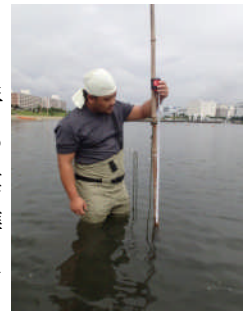
***竹ヒビこさえ (9月11日)**

アクを抜くために海に沈めていた竹を引き上げて、竹ヒビをつくります。竹ヒビを使う方法は海苔養殖が網で行われるようになる前におこなわれていました。見た目は竹ぼうきを逆さにしたようですが、基の竹に細かい枝をつけて枝振り広がるようにします。こうすることによってたくさん海苔がつくようになります。また根元には「あご」と呼ばれる返しをつけます。こうすることによって海底から抜けにくくなります。



***場割り (9月27日)**

昔は海苔養殖の場所を分ける目印を建てることを「場割り」と呼びました。この活動では、どのあたりに竹ヒビと海苔網の支柱を建てるかの目印と、網の高さの基準になる「八段線」の竹を建てるために行なっています。



***竹ヒビと海苔網支柱建て (10月26日)**



「そこり」と呼ばれるその日一番潮が引く時を見計らって作業をします。竹ヒビは、海に入って「振り棒」という昔ながらの道具を使って海底に穴をあけ、そこに素早く差し込んで建てます。海苔網の支柱は水圧ポンプを使って穴をあけ建てました。当日は近隣

の小学生が見学を訪れ、作業の様子を見学し、実際に自分たちでも振り棒を使って砂浜に穴をあける体験をしました。



(小山)



認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会会報「大森海苔のふるさと館ニュース」49号

平成28年3月1日発行
編集・発行 認定特定非営利活動法人 海苔のふるさと会
連絡先 東京都大田区
平和の森公園2番2号
TEL 03-5471-0333
FAX 03-5471-0347

**海苔のふるさと会
会員募集中!!**

海苔のふるさと館をより良い施設にするために、ご協力いただける方を募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。